

# 山口新聞

平成24年12月14日(金)

NO.35

農地・水・環境

## 守ろう 地域の手で

(35)

長門市の油谷東後畠地区は、全国棚田百選、「深田ため池」、山口県棚田20選として認定されている、景観に恵まれた景勝地である。

当地区の棚田は地理的に農作業の効率が悪く、労働力は高齢化率50%を超えており、経営規模も零細農家

が多い。最近は野猪の被害が多発し、対策に苦慮している。

活動は農道整備による農作業の効率化、ため池の修繕工事、ビオトープ水田の

取り組むため、営農組合を中心、「東後畠農地資源保全会」を組織。地区内の景観保全に向け、耕作放棄地をこれ以上増やさないよう農地の保全に全力をあげている。

農地、農業用施設を守り続けること

## 東後畠棚田農地資源保全会(長門市)

が、今生活している私たちの責務とと思っている。そのため、あらゆる手段を使って農村環境を維持していくければ、自然と地区的景観は光り輝いてくれると確信している。

(代表、三村建治  
〔メモ〕代表=三村建治  
〔メモ〕会員=28人、農業者20戸、自治会、営農組合  
△設立=2007年4月  
1日△連絡先=長門市油谷後畠350の1、会計、大田實治 0837・32・2502



上 会員の皆さん  
下 ため池の修繕活動。農業用施設を守り続けることが責務という

造成や排水路の清掃など。また、下関市立大学の学生を5日間で延べ30人受け入れ、共同防除の手伝いや宇津賀交流館の周辺整理、保

全農地の草焼きなどの共同作業を行う交流事業を開催することで、情報発信や地区から新しい風を吹き込むことで、情

津賀交流館の周辺整理、保全農地の草焼きなどの共同作業を行う交流事業を開催することで、情報発信や地区から新しい風を吹き込むことで、情